

設立30周年記念 総会・交流会 特集

設立30周年記念

温海会総会・交流会



五十嵐長次会長



楨代の「ワッパ舞」



福祉募金贈呈

ふるさと温海会総会



北見恭子さん

7月5日(日)霞が関ビル35階「東海大学校友会館」で、ふるさと温海会設立30周年記念総会及び交流会が開催され、温海地域から27自治会の会長をはじめとして多くの出席があり、総勢132名の賑やかな総会・交流会となりました。

交流会では、30周年を記念して故郷の楨代集落に伝わる神事「ワッパ舞」が奉納された他、旧温海町のイメージソング「好きだから温海」を歌った村山市出身の演歌歌手北見恭子さんのミニコンサートや花柳流花柳流名取 花柳真菊鳳(本間セツ)さん(山五十川出身)の日本舞踊が披露され、30周年に花を添えていただきました。

抽選会では、温海の特産である国指定伝統工芸品「しな織」や温海かぶ、温海産のサクランボなど多くの景品が準備され、当選者の発表のたびに大きな歓声が響きました。

また、恒例の福祉募金が行われ多くの募金が寄せられました。集まった募金は温海庁舎鈴木支所長に託され、温海地域の特別養護老人ホーム「温寿荘」に贈られました。

会場内は懐かしい顔に温海弁が飛び交い、都心のど真ん中に温海が移ってきたような雰囲気、終わりには「故郷」を全員で合唱し、再会を誓いつつお開きとなりました。

ふるさと温海会の皆さんには、首都圏と温海をつなぐパイプ役として、またふるさと温海の応援団としてこれまで以上にご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、ふるさと温海会の更なる発展をご祈念申し上げます。



花柳真菊鳳さん



故郷合唱



万歳三唱

 祝
 鶴岡市
 合併・市制施行
 10周年
 Tsuruoka City 10th Anniversary

ユネスコ
 食文化創造都市
 鶴岡
 UNESCO Creative City
 of Gastronomy



今「福栄」が熱い！ 福栄地区イベント特集

温海地域の東側、国道345号沿線の木野俣、温海川、越沢、関川、菅野代の5集落では、福栄地域協議会「福の里」を結成し、過疎化の進む福栄地域に活力を取り戻そうと、地域活性化推進員や地域起こし協力隊3名を配置して、住民総力を挙げて地域の活性化に取り組んでいます。これから予定される福栄地区のイベントを紹介します。



すがのだい
菅野代



あつみがわ
温海川



きのまた
木野俣



こえさわ
越沢



せきかわ
関川



『第27回 関川しな織まつり』

- 日時： 10月17日(土) 10時～16時・18日(日) 9時～15時
会場： 関川しな織りセンター 周辺
内容： 国指定伝統工芸品「しな織」の展示販売、コースターづくり体験等
他、しな織音頭などのステージ、特産品の販売など盛り沢山

同時開催『大隅・温海交流20周年記念事業』

鹿児島県旧大隅町(現：曾於市)と旧温海町が「戊辰の役」が縁で交流を始めて20年を迎えることから、曾於市から市長をはじめとする訪問団が関川を訪れ、慰霊祭や記念植樹の他、歴史と交流の語り、曾於市の物産展などが行われ、お互いの親交を深めます。



『摩耶山秋の登山会』 申込不要！自由参加！

- 日時： 10月18日(日) 9:00～(受付8:30～)
集合： 越沢「まやのやかた」
内容： 山頂からの美しい眺めと秋の味覚が楽しめる登山会。
「まやのやかた」にて旬の山菜やきのこ類の販売も致します！
頂上からの一面に広がる紅葉の大パノラマをお楽しみください！

『越沢新そばまつり』

- 日時： 10月31日(土)～11月1日(日) 10:00～14:00
会場： 越沢「まやのやかた」(国道345線沿い)
内容： 『新そば会』地元山菜料理を添えた特別メニュー



『金山坑道 四の滝巡りトレッキング』

- 日時： 平成27年10月18日(日) 9:00～
集合： 温海川 中小屋高原
内容： 徳川幕府「金山ロマンの秘境」、温海川金山(かねやま)の坑道群から、幻の滝「四の滝」まで紅葉の中をトレッキングします。落差50mの名瀑「四の滝」までの往復8km、3時間の紅葉狩りを楽しみましょう。

あ.と.が.き

小国集落は古くから小国城の城下、旧出羽街道の宿場として栄え、街道の要所として明治初期まで関所がおかれていました。集落中央を貫く約400mの直線道路は今もなお集落のシンボルとして往時の姿を残しています。小国集落も人口の減少が続き、過疎化の進行は否めません。そこで集落の活性化のために青年層が提案したのが小国集落のシンボルである直線道路に灯籠を並べてみようというものでした。昨秋山から切り出した藤の弦を、乾燥する前に灯籠の形に加工、一冬かけて色とりどりの和紙を貼り、約50個の灯籠を作り上げました。

8月13日の夜、集落中央に面する各家庭の前に約50個の灯籠を並べ、同時に点灯すると、直線道路が灯籠の灯りに浮かび上がり幻想的な風景を醸し出しました。集落内には帰省客も含め多くの住民が出て集落内の散策を楽しみ、久しぶりに賑わいを感じる一夜になりました。



このように温海地域では各集落で地域の資源である、自然、食、人を活用して活性化を図ろうという取り組みが行われています。

過疎といわれて久しい温海ですが、活力のある住みやすい環境をつくるため一人ひとりが日々まちづくりに励んでいます。

暑かった夏も一気に過ぎ去り、例年より秋の訪れが早いような気がしますが、これから稲刈りシーズンとなり、そして冬が来て春を待つ、といった変わらぬ四季が温海にはあります。皆さんがいつでも気軽に帰省できる、温かい、元気なふるさとを守るため、地域住民が力を合わせて頑張っていますので、これからも皆さんのご協力をお願いします。

[担当: 鶴岡市温海庁舎総務企画課 課長補佐 五十嵐浩一]